

## 21世紀を迎えて



常務取締役  
武井 英俊

21世紀がスタートしました。20世紀は戦争の世紀と言われる暗いイメージを持つ一方で科学・技術の格段の進歩により、人類は多くの物を手にし享受した世紀でもありました。今21世紀の初頭にあつて、IT(情報技術)、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、宇宙開発そして地球環境保全に関する技術など、新しい科学・技術が目覚ましいスピードで進歩しています。そしてその行き着く先は誰も想像できない世界が待っています。このような背景下の経済競争を長い目でみれば、今この国家、企業、個人のどれをとっても皆同じスタートラインに立っていて、誰にもチャンスのある時代が訪れたということができると思います。

当社ではこの21世紀を迎えるに当たって新中期経営計画を立て活動を開始していますが、今年は計画の一層の推進を図るため、「キックオフ21」運動として改めて内容のブラシアップを図っています。この中で技術開発の方向は、既存のコア事業を支え発展させるためのものと、これから全く新しい分野へ進出するためのものとを、明確に区分しその推進を図ることにしています。

交通部門においては、新しい高効率で高機能・高性能な車両用電機品、駅務情報機器の開発に加えて、プラットフォーム・セーフティシステム(ホーム可動柵&ホームステップ)製品の開発を足掛かりに、駅設備におけるバリアフリー対応機器の開発に積極的に取り組んでまいります。

また産業部門においては、パワーエレクトロニクス技術、電動機・発電機技術により一層情報技術を取り入れた技術を核に、クリーンでインテリジェントな水環境関係およびエネルギーを効率よく発生・変換・利用するエネルギーソリューションなどの地球環境問題解決に役立つ製品の開発に更なる注力をする所存です。

まったく新しい分野への進出に当たっては従来の受注生産型とは異なる市場創造型の商品開発にも積極的に取り組むことにしています。以上、21世紀の初頭に当たり東洋電機は創業の理念である進取の精神に改めて思いをいたし、これからもお客様のご期待に応えるため一層技術の研鑽に励んでまいります。皆様のご鞭撻をお願い申し上げます。